

歴史講座（勾玉づくり体験）に教育学部の学生がボランティア



7月24日（水）14時から15時30分に関西福祉科学大学高等学校にて、「柏原市青少年講座」の「歴史講座」として勾玉づくり体験が行われました。この講座には、4年生から6年生の小学生14名が参加をしました。また、教育学部の学生5名がボランティアとして活動しました。



ボランティア活動

- ・勾玉づくりに使用する滑石(かっせき)や紙やすり、新聞紙などの準備
- ・勾玉の描き方や削り方のアドバイス
- ・滑石の子どもでは、削れない部分の作業
- ・勾玉に紐を通すための穴あけ作業
- ・作業をしている子どもからの質問への応答など

歴史講座（勾玉づくり体験）では、はじめに受講生は、高等学校の地歴・公民科の中村先生より勾玉についての講義を受けました。講義では、勾玉は古代の日本における装身具の一つであったこと、勾玉の由来は諸説あることなどを学びました。



学生の感想

初めての参加で緊張しましたが、子どもたちと関わる中で、楽しく活動することができました。機会があれば、また参加したいです。

子ども一人一人に個性があり、それぞれに応じた対応をすることが大切だと思いました。

子どもと話をすることができ、充実した日になりました。これからの教育実習などに活かしていきたいです。

